### limit

指定した件数分だけ特定の位置からクエリ結果を取得し、クエリをキャンセルします。

#### 構文

limit [INT\_OFFSET] INT\_MAX

必須パラメータ

**INT\_MAX**

クエリ結果から取得する最大件数。指定した件数に到達するとクエリをキャンセルします。一部のコマンドでは、クエリがキャンセルされることで意図した通りに動作しない場合があるため注意してください。

オプションパラメータ

**INT\_OFFSET**

クエリ結果からスキップする行数（デフォルト: 0）

#### 使用例

最初に入力される5件のみを取得し、クエリをキャンセルする

table sys\_cpu\_logs | limit 5

上記のクエリは、次のクエリと同じ結果になります：

table limit=5 sys\_cpu\_logs

最初のレコードを除外し、2件のみを取得した後にクエリをキャンセルする

table sys\_cpu\_logs | limit 1 2

上記のクエリは、次のクエリと同じ結果になります：

table offset=1 limit=2 sys\_cpu\_logs